

# 35 自治体DX推進研修Ⅱ



～組織改革とマネジメント～

目的	DXの推進に向けた組織運営に当たり、自治体DXを推進するために必要な視点や考え方を理解し、醸成を促す方法を学ぶとともに、人材の育成や人材戦略について体系的に学ぶ。		
内容	(1) 自治体DX推進の背景や意義、取組内容、具体的な進め方に関する基礎知識を、他自治体の事例やデモの紹介、グループワークを交えて体系的に身につける。 (2) 職員がDX推進のための知識やスキルを習得し、実際の行動や成果に結びつけるための人材育成や体制づくり、組織文化変革に関する課題と解決策を学ぶ。		
実施月日	令和7年9月26日(金)		
対象者 ・ 定員	<市町村職員との合同研修>		
	県職員	課長補佐級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	15名
		課長級キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	15名
	市町村職員	課長補佐等以上の職員	18名
研修講師	立命館アジア太平洋大学 准教授 有限会社D's Link 取締役CEO 狩野 英司(かのう えいじ)氏		
プロフィール	中央官庁、大手シンクタンク、大手メーカー勤務を経て現職。 行政機関や企業の業務・システム改革、デジタル・ガバメントに関する調査研究に長年携わる。 2020年に筑波大学発ベンチャーD's Link を第二創業、地域DX人材育成に取り組む。  <主な役職等> 立命館アジア太平洋大学 准教授 有限会社D's Link 取締役CEO 一般社団法人 行政情報システム研究所 主席研究員 事業構想大学院大学 客員准教授 福井県 未来戦略アドバイザー (CDO補佐官) 調布市 デジタル行政推進アドバイザー  <資格等> 情報処理技術者 (ITストラテジスト、プロジェクトマネージャー) 米国PMI認定PMP 筑波大学大学院修了、修士(経営学)・博士(システムズ・マネジメント)  主な著書: 「自治体職員のための入門デジタル技術活用法」(ぎょうせい) 「自治体職員のためのデジタル技術の基礎知識」(月刊 J-LIS)		
昨年度 受講者の声	> DXを推進するための研修内容で、講師は十分にその知識を有しており説明はわかりやすく、スライドなどの資料も充実していた。		
	> 事例をあげながらの説明でわかりやすかった。またDXという難しそうなテーマであるが、実際は業務改革の流れで、テーマが少し違うだけということが非常に納得できた。		
	> グループワークが予想以上に面白く、多くの意見が出る中、自分の考え方を見つめ直す必要性を感じることでできた良い研修になった。		

## 日程表

	8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:15
受付	オリエンテーション	1 自治体DX概論		昼食	5 サービスデザイン思考	アンケート・閉講
		2 デジタル技術の活用			6 課題解決フレームワークの実習【演習】	
		3 オンライン化			7 業務改善	
		4 データ活用			8 DX人材育成・組織開発	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。